

中島なおきの基本姿勢

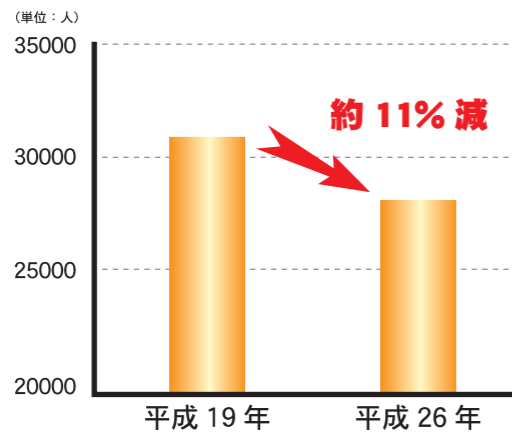
- その壹- 市民とともに行動する、**現場主義**のリーダーを目指します。
- その貳- 硬直化し、閉塞感に覆われた行政組織を**改革**、**刷新**します。
- その参- 政治は評論ではありません。やるべきことを**断固**やりぬきます。

羽生市は衰退の一途?

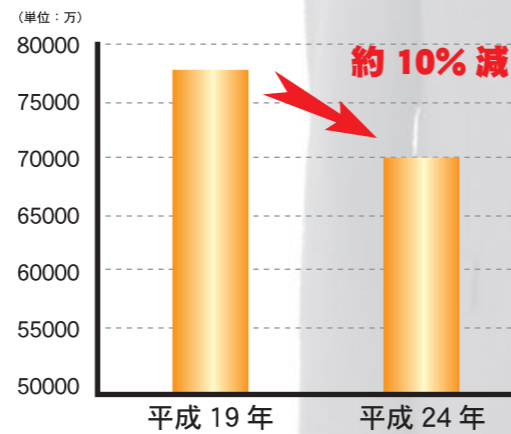
日本は人口減少時代に突入。経済の低迷も続いています。羽生市も平成12年をピークに人口は減少。同様に市税収入も減少しています。

この問題に真剣に向き合い、対応策を講じなければ、羽生市の発展はありません。

市民18歳～60歳の人口減少率



羽生市税収入減少率



市民を一体どこに導こうとしているのか?

現市長による市政運営が始まり、間もなく8年。当初は期待を集めたものの、将来展望がなく、「独断」と「思いつき」の市政運営が続いています。また選挙公約で掲げた重大な政策課題の解決も先送りされるばかりです。

そして最近、ゆるキャラ®事業や米国都市との姉妹都市締結計画など、目先の話題作りにはばかり夢中になる様子が目立ちます。

市長の目指すまちづくりと、市民の望むまちづくりは、いつの間にかかけ離れてしまったように思えてなりません。

周辺自治体から『孤立』する羽生市

国や県では行政効率化の観点から、消防やごみ処理行政等の広域化が推進されています。しかし、いずれも羽生市は周辺自治体から孤立し、取り残されてしまいました。

これは、現実と足下を見ることなく、目先の話題作りで夢中になってきた結果であるとともに、市長が掲げたマニフェスト『単独での自主自律』の弊害です。

だから今こそ!

市政刷新!

有言実行!

中島なおきの すぐにやる 五大公約

1 先送りされ続けた政策課題に真剣に取り組めます。

老朽化著しい清掃センターの対応、病院の市内移転、羽生インター周辺の開発等は、羽生市が抱えた待ったなしの政策課題です。にもかかわらず、ただ、ただ先送りされています。これら重大な政策課題に**真剣**に取り組み、**解決の糸口**を見つけるため**全力**を尽くします。

2 孤立を深める「単独での自主自律」の施政方針を見直します。

無闇に「**単独**」を掲げていては羽生市を孤立させるばかりです。現在、国や県では、消防行政、清掃行政は広域化が推進され、国民健康保険事業についても、広域化の検討がなされています。国や県、近隣自治体といつでも協力できる体制に見直します。

3 ゆるキャラ® 事業優先のまちづくりを見直します。

ゆるキャラ®事業により、羽生市の知名度が向上したことは事実です。しかしながら、政策課題を先送りしてまで、**市役所が、「人」「金」「時間」を惜しむことなくつぎ込み、行うべき事業ではありません**。話題作りを優先するのではなく、市民生活を守るための施策に**全力**を尽くします。

4 米国都市との新たな姉妹都市締結計画を中止します。

現在、羽生市はフィリピン共和国バギオ市、ベルギー王国デュルビューイ市と姉妹都市になっています。ベルギーとの交流は、事実上凍結してしまっているにもかかわらず、**新たな支出と労力を要する米国都市との姉妹都市締結は必要ありません**。

5 黒塗りの市長専用車を廃止します。

現在使われている**市役所の中でも異質な黒塗りの市長専用高級車**。これは誤った権威の象徴です。**年間数百万円の維持費を要している黒塗りの市長専用高級車を廃止し、市長車は他の職員と共用**します。

羽生の現状をどうしても見過ごすことが出来ません。

羽生市政は「現状維持」が良いのか?

それとも「改革」が必要なのか?

来たる日に明確な意思表示をお願いします。



市政改革宣言

